

シュザンナ・カコヤン 研究員（アルメニア）



はじめまして。私はアルメニアの非常事態省から来ましたシュザンナ・カコヤンと申します。私の国アルメニアはコーカサス地域の北西に位置する多くの山に囲まれた国です。1998年12月7日に発生したスピタク地震は歴史的にも大規模な災害で、25000人以上の人がこの災害によって亡くなりました。

これら災害からの被害を抑制させるために、防災教育と人材開発に関する活動は、私が所属する非常事態省に於いて重要な活動となっています。私個人としては、非常事態省の西部地震保護で働いていて、社会心理部主席専門家として活動に従事しています。特に、一般の市民を対象とした防災教育活動、社会心理に関する研究、地震発生前の災害対策としての正しい知識の普及活動などを行っています。

アルメニアはまだ発展途中の段階で、日々進歩している世界の専門的技術から多くを学んで今後、継続的に発展していくと思います。ADRCに客員研究員として滞在している間、アルメニアの発展に寄与するために、防災に係る様々な活動を経験したいと考えています。

ADRCで学ぶことについては、きっと防災教育や新たなアプローチへの刺激など、私の知識や経験をさらに満たす助けになると思います。母国であるアルメニアに対しても、人材開発や教育の分野において、新たな方法論や知見を見いだせると期待しています。